

平成21年度

施政方針

平成21年第1回曾於市定例会が開かれ、この定例会で平成21年度一般会計当初予算などが審議されました。その中で池田市長の施政方針を一部抜粋して掲載します。

平成21年第1回曾於市議定例会が開会されるにあたり、市政運営に臨む私の姿勢と所信の一端を申し上げますとともに、平成21年度の一般会計予算案の重点施策など、その概要についてご説明申し上げます。

我が国の経済は、世界的に景気後退が見られる中で、外需面に加え国内需要も停滞し景気が急速に深刻化しており、雇用情勢の悪化など、厳しい局面に立たされています。

それに伴い国は、20年度の第一・二次補正や21年度予算で景気対策が示されており、厳しい財政運用を強いられている地方や雇用情勢の厳しい地域に対して、地方交付税を重点的に配分することとされています。

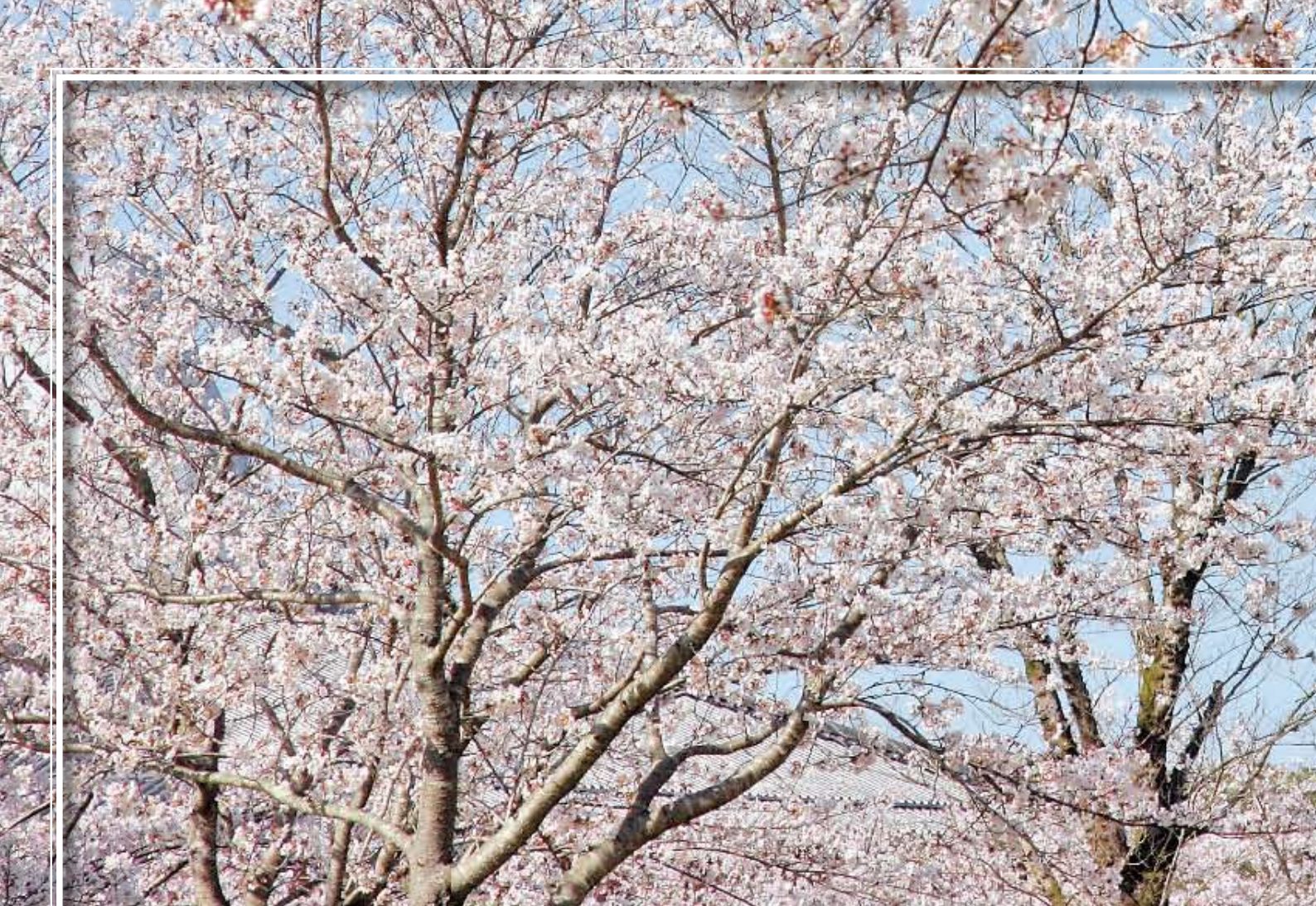
しかし、一方では地域間格差が言われており、少子高齢化や過疎化の進行、さらには地方分権に伴う自主財源の伸び悩みな

ど、地方を取り巻く環境は厳しい状況にあり、社会経済情勢が急速に変化する中で、市政運営が取り残されないように機を逸せず、迅速に対応することが重要であります。

本市におきましても、少子高齢化や過疎化の進展など社会情勢が変化する中で、これまで提供してきた行政サービス等は、維持していく必要があります。

行政サービス等を安定的に供給していくためには、曾於市総合振興計画や過疎地域自立促進計画、行政改革大綱、定員適正化計画、組織機構再編計画等の主要な計画を十分に踏まえながら、行政体制の整備や行財政基盤の強化、効率的な組織体制の構築を図り、これまで以上の自主的・自立的な行財政運営に努めていくことが大切です。

私は、平成17年8月に曾於市初代市長として就任して以来、活力に満ち、心豊かでいつも夢と希望の持てる元氣なまちにしたいという信念で、市民の皆様にお約束した施策を着実に実施し、新市まちづくりの将来像である「豊かな自然の中で生命の鼓動を感じるまち」の実現に向



け、全力を尽くして市政運営に取り組んでまいりました。

曾於市誕生から4回目の春を迎え、平成21年度予算編成は「均衡のとれた曾於市のまちづくり」に向けて、健全財政の確保を基本として歳出の削減、合理化を図りながら財源の配分を行ったところであります。

平成21年度予算は、国・県の方針を踏まえ編成しましたが、雇用情勢の悪化など景気が急速に深刻化しており、これらについては、国の施策等を十分活用しながら取り組んでまいります。

また、本年は市長選挙の年であることから、年間予算を査定し、総合振興計画に掲載していない市単独の新規事業等を除くものを骨格予算として計上しました。厳しい財政状況の中での編成となり、歳出では物件費等について極限まで絞り込み、徹底して消費的経費を抑制したところです。

普通建設事業は、緊急性・必要性など投資的効果を踏まえ、継続事業を中心に厳選して、限りある財源を有効に活用し、幅広い分野で最大の効果をあげるための厳しい選択をしました。

その他本年度は、まちづくり計画に基づくまちづくり基金造成を行うことにしていますが、予算総額は前年度に対して減少した予算編成となりました。

その結果、平成21年度の一般会計当初予算は199億5700万円、前年度の当初予算204億円に対して4億4300万円、22%の減、特別会計は、予算総額が112億3741万9千円となり、前年度の当初予算118億5657万6千円に対して6億1915万7千円、52%の減となっております。

国民健康保険特別会計及び介護保険特別会計は前年度に対し伸び、その他の特別会計は前年度に対し減少となりました。また、それぞれの特別会計に本年度より人件費を計上することといたしました。

水道事業会計予算は、収益的収入5億4955万2千円、収益的支出4億5709万7千円、資本的収入1億5880万円資本的支出5億778万9千円となっています。

平成21年2月27日

曾於市長 池田 孝



活力に満ち、心豊かでいつも夢と希望の持てる元気なまちづくりのための

5つの主要施策



道路・橋梁等の整備や道路維持管理に努めるため、国や県の交付金や補助金による緊急地方道路整備事業や地方特定道路整備事業及び辺地債・過疎債・合併特例債等を活用した市道整備事業、排水路整備事業を進めてまいります。

また、公営住宅の整備や少子高齢化等により人口の減少が特に多く見込まれる地域には、定住促進対策として安価の家賃で入居できる地域振興住宅の建設を本年も進めていくことにしています。

さらに、高齢者等の交通弱者の交通手段の確保を図るため、引き続き思いやりタクシー等の運行を行い、地域情報化の推進のため情報・通信網の整備を行うことにしています。

快適で安心して暮らすまちづくり

Chapter 1



また、学校施設を開放して、市民に身近な活動や交流の拠点として、地域の人材の活用を図り、多面的な機能を持つ学校づくりと生涯学習の推進は、住民一人ひとりが心豊かで充実した生活を送っていくために、生涯学習講座を引き続き行うことにしています。

学校教育の充実を図るため、老朽化した学校施設の整備・改修や市内小学校へのパソコンの導入や個々の児童・生徒に応じた教育を行うための特別支援教育支援員の配置、学習指導補助員を配置して児童・生徒を支援して、特色ある教育活動を行うことにしています。

個性豊かな教育と文化のかおるまちづくり

Chapter 2



健やかで共に 支え合う 福祉のまちづくり

Chapter 3

保健予防・健康づくりの推進は、健康づくりの整備充実を図り特定健診をはじめ、生活習慣病の予防、疾病の早期発見・早期治療を目的に各種検診の推進と各種健康教室の充実を図るとともに、少子化対策として不妊者の体外受精・顕微受精等や乳幼児医療費・健康診査に対する助成を行います。また、妊婦検診に対する助成を拡充いたします。

高齢者福祉については、訪問給食の提供や福祉ネットによる見守り活動等、支援体制の充実に努めます。また、児童福祉についても、小学校就学前までの乳幼児医療費の無料化を継続し、さらに第3子以降の保育料の助成を行い、保護者の負担軽減に努めてまいります。さらに、後期高齢者医療制度の被保険者については、引き続き、はり灸・温泉保養の補助を行い、葬祭費についても助成を行います。

人と自然が共生し 地域資源を生かした まちづくり

Chapter 4

農業は基幹産業であり、営農環境の整備や生産性の向上に努め、高い経営能力を持つ意欲的な農家や営農組織を育成し、生きがいとやりがいの持てる農業の振興を図るため、新規就農者への支援や園芸振興に対する補助、農家緊急対策特別資金に対する利子補給、家畜伝染病防止対策補助、土地改良事業等を行うことにしています。

また、特産品のブランド確立と地産地消や食育の推進に取り組んでまいります。

林業は、森林資源の育成と木材需要の拡大と林業生産活動の活性化を図るため、森林の多面的機能の保全と林道・作業路等の基盤整備や除間伐、枝打ちなどの森林整備を行うことにしています。

さらに、商工業の振興と活性化を図るため、資金借入に対する利子補給、商工会商品券発行、国の緊急経済対策借入金を保証料に対する助成や企業に対する工場設置補助金等も継続することとしています。

住民参画による 協働のまちづくり

Chapter 5

自治会活動は、自主的な活動により自分たちの地域社会を創るものであり、まちづくりの原点であります。

これからの協働社会の充実と助け合う地域づくりを促進し、安心して生活できる地域づくりを確立するため、自治会振興補助金の交付、自治会統合に対する助成を引き続き行います。

また、自治公民館建設に対しても補助を行い、自治活動の基盤整備を図ります。

さらに、行財政改革への取り組みは、中長期的な視点に立った財政計画の基に歳出の合理化・効率化・重点化に努め、曾於市総合振興計画等、各種の主要計画を基本にしながら、財政運営の健全化に取り組んでいくことにしています。

